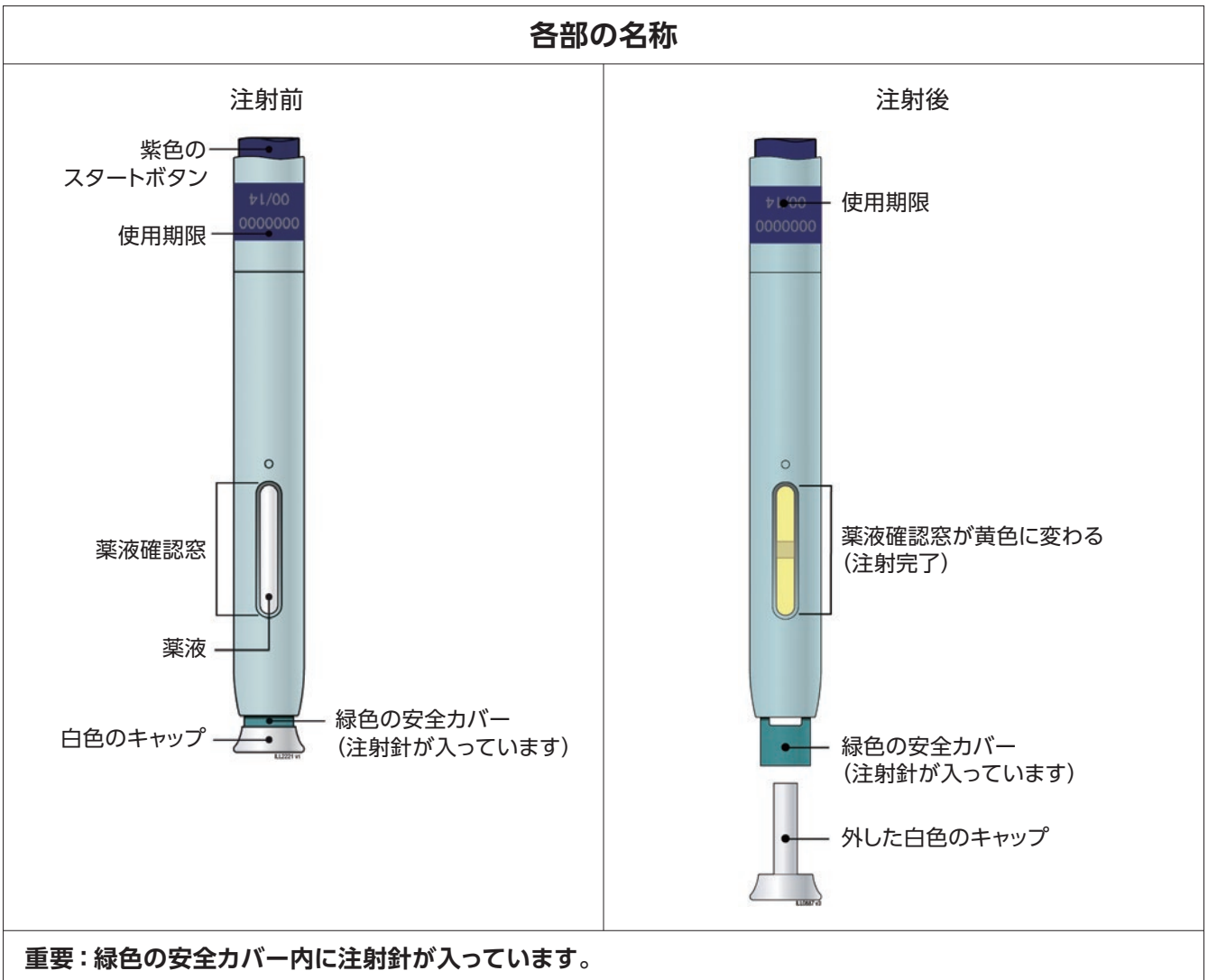


アイモビーグ[®]皮下注70mg ペン

取扱説明書

【製品の概要】この製品は、単回使用・使い捨てのペン型の機械式注入器に皮下注射製剤アイモビーグ[®]（エレヌマブ）70mgを充填した製品です。

各部の名称



重 要

オートインジェクターを使用する前に、下記の重要な説明をお読みください：

① 保管方法

- お子様の手の届かないところに保管してください。
- 外箱に入れたまま保管し、光や衝撃を受けないようにしてください。
- 冷蔵庫に入れ、2～8℃で保管してください。
- 温度が極端に高い場所や低い場所で保管しないでください。
- 凍結させないでください。

② 使用時の注意

- 外箱に表示した使用期限を過ぎている場合は、**使用しないでください。**
- **振らないでください。**
- 注射の準備ができるまで白色のキャップを**外さないでください。**
- **凍結させないでください。**凍結させてしまった場合は、**使用しないでください。**
- 硬いところに落とした場合は**使用しないでください。**ひびなどが見えなくても部分的に破損しているおそれがあります。新しいオートインジェクターを使用してください。
- 白色のキャップにはラテックス由来の天然ゴムを使用しています。ラテックスに対するアレルギーの有無を確認してください。

ステップ 1：注射の前に

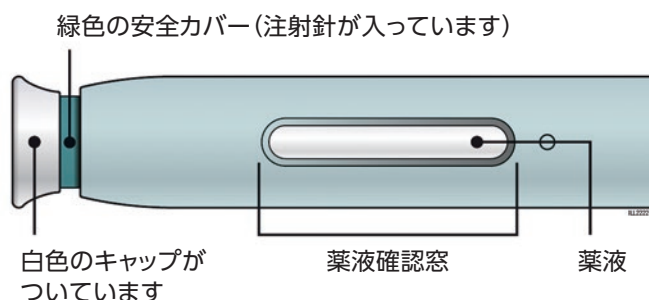
本品は、単回(1回)使用の充填済みオートインジェクターです。

A オートインジェクターの外箱を冷蔵庫から取り出し、30分以上待ちます。

1. 外箱のまま30分以上かけてオートインジェクターを室温に戻します。
2. 外箱を開けてオートインジェクターをそっと静かにまっすぐ持ち上げ、外箱から取り出します。

- 一度室温に戻したオートインジェクターは**再び冷蔵庫に戻さない**でください。
- お湯や電子レンジなどの熱源を使って**温めない**でください。
- 直射日光の当たるところに**放置しない**でください。
- オートインジェクターを**振らない**でください。
- 白色のキャップはまだ**外さない**でください。

B オートインジェクターを点検します。



薬液確認窓の中の薬液が透明で、無色またはわずかに黄色であることを確認してください。

- ⊙ 次の場合は新しいオートインジェクターを使用してください：
- 薬液が濁っている、変色している、あるいは塊や粒子が入っている。
 - ひびが入っている、割れているところがある。
 - オートインジェクターを落とした。
 - 白色のキャップがついていないか、しっかりと取りつけられていない。
 - 使用期限を過ぎている。

C 注射に必要なものを用意します。

手を石鹸でよく洗います。

清潔で明るく平らな場所に次のものを置きます：

- 新しいオートインジェクター
- アルコール綿
- 綿球または滅菌ガーゼ
- 絆創膏
- 耐穿刺性廃棄用容器



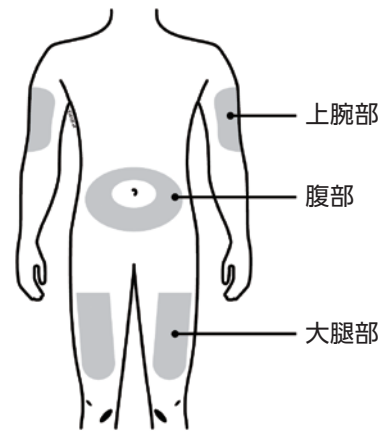
D 注射する部位を決めて消毒します。

次の部位に注射できます：

- 大腿部
- 腹部、ただしへそのまわり5cm以内は避ける
- 上腕部の外側

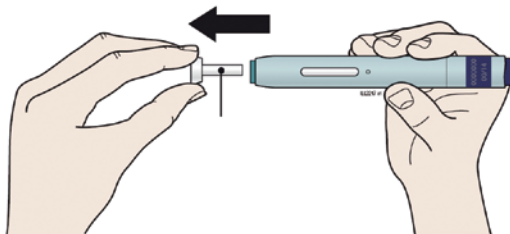
注射する部位をアルコール綿で消毒して、皮膚を乾かします。

- 注射するまで消毒した部位に再び触れないでください。
- 皮膚が敏感なところ、挫傷、発赤または硬結している部位に注射しないでください。
- 皮膚が盛り上がっている部位や厚い、赤くなっている部位、またはうろこ状になった部位や、傷跡や妊娠線のあるところに注射しないでください。



ステップ 2：準備をする

E 注射の準備ができれば、白色のキャップをまっすぐに引き抜きます。白色のキャップを外したら5分以内に注射してください。針内の薬液が乾き注射できないことがあります。



白色のキャップ

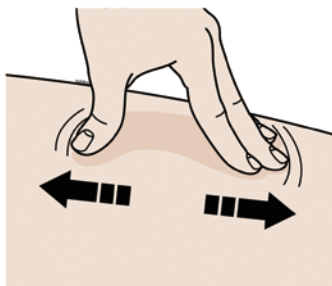


白色のキャップを引き抜いた際、注射針や緑色の安全カバーの先端に液滴がついていても問題ありません。

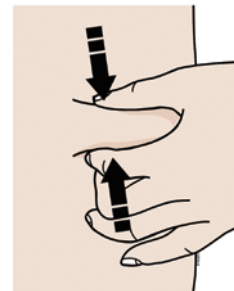
- 白色のキャップをねじったり、曲げたりしないでください。
- 一度外したキャップは元に戻さないでください。
- 緑色の安全カバーに指を入れないでください。
- 注射の準備ができるまで白色のキャップを外さないでください。

F 注射する部位(大腿部、腹部、上腕部の外側)を引き伸ばすか、またはつまんで、皮膚の表面を硬くします。

引き伸ばす方法



つまむ方法



または

親指とほかの指を逆方向に動かして皮膚をしっかり伸ばし、5cmくらいの幅を作ります。

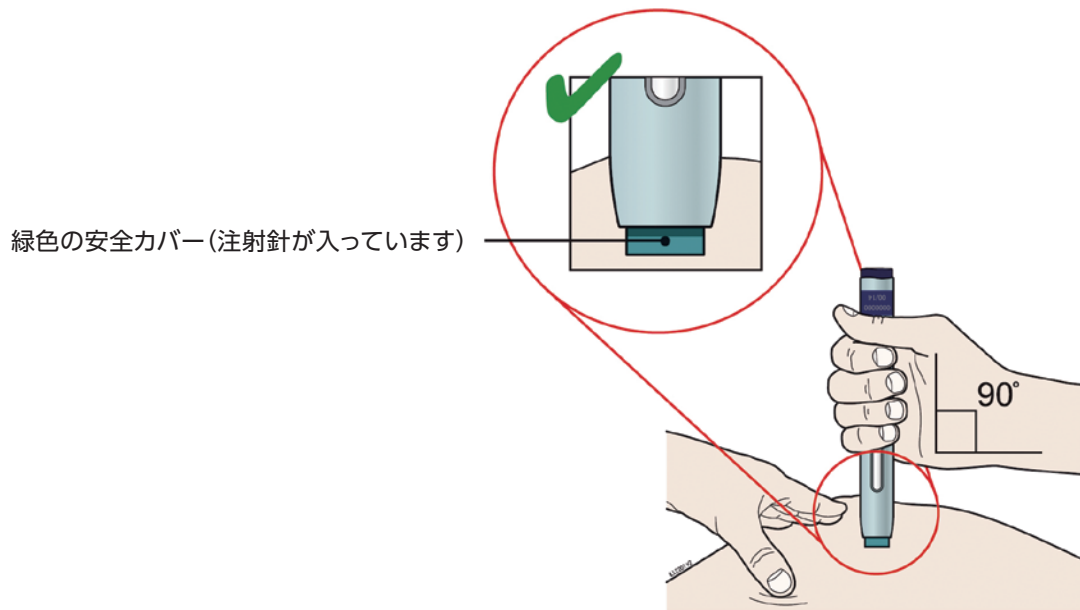
親指とほかの指で皮膚をしっかり5cm程度つまみます。

重要：注射中は皮膚を引き伸ばしたままか、つまんだままにすることが大切です。

ステップ 3：注射する

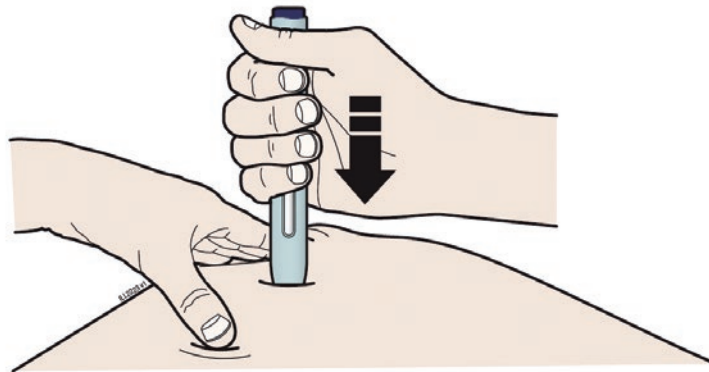
G

皮膚を引き伸ばしたまま、またはつまんだままにします。白色のキャップが外れた状態で緑色の安全カバーを皮膚に直角にあてます。緑色の安全カバーの中に注射針が入っています。まだ紫色のスタートボタンには触れないでください。



H

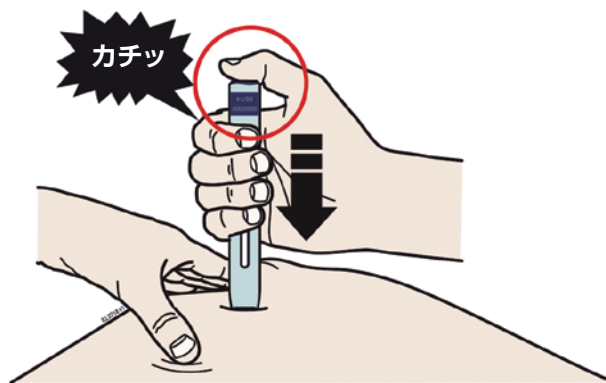
オートインジェクターが動かなくなるまでしっかりと皮膚に押しこみます。



重要：できるだけ下へ押しこみます。注射の準備ができるまで紫色のスタートボタンには触れないでください。

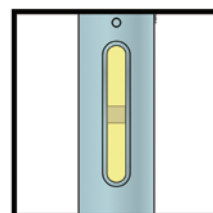
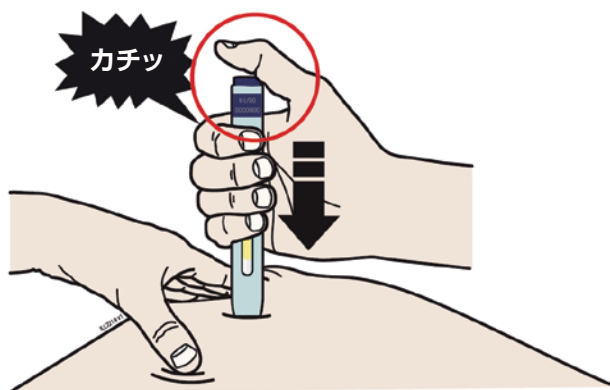
I

注射の準備ができたなら、紫色のスタートボタンを押します。
「カチッ」という音を確認します。

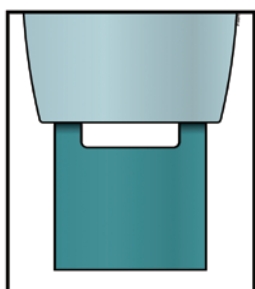


J

皮膚に押しあてたまま、親指を離します。注射時間は、15秒以内です。



注射が終わると確認窓が黄色に変わります。
2回目の「カチッ」という音が聞こえます。



注意：オートインジェクターを皮膚から離すと、注射針は自動的に緑色の安全カバーで覆われます。

重要：薬液確認窓の色が黄色に変わらない場合や、薬液が注入途中と思われる場合は、薬液の全量が注射できていない可能性があります。

ステップ 4：終了

K 使用済みのオートインジェクターと白色のキャップを捨てます。



- 使用済みのオートインジェクターと白色のキャップは、使用后すぐに耐穿刺性廃棄用容器に捨てます。
- オートインジェクターを再使用しないでください。
- オートインジェクターや耐穿刺性廃棄用容器を再使用したり、一般廃棄物に捨てたりしないでください。

重要：耐穿刺性廃棄用容器は常にお子様の手の届かないところに保管してください。

L 注射した部位を確認します。

出血していたら、注射した部位を綿球または滅菌ガーゼでおさえて、止血してください。注射した部位を**もんだりこすったりしないでください**。必要に応じて絆創膏を貼ってください。

よくある質問

注射部位に押しあてる前に紫色のスタートボタンを押してしまったら、どうしたらよいですか？

紫色のスタートボタンを押しても、緑色の安全カバーがオートインジェクターに押しこまれない限り、注射は始まりません。

注射する部位を決めるときに皮膚の上でオートインジェクターを動かしてもよいですか？

紫色のスタートボタンを押さなければ、注射する部位のまわりでオートインジェクターを動かしても問題ありません。ただし、紫色のスタートボタンを押して、緑色の安全カバーがオートインジェクターに押しこまれたら、注射が始まります。

注射を始めた後で紫色のスタートボタンを離してもよいですか？

スタートボタンを離しても問題ありません。ただし、注射中はオートインジェクターをしっかりと皮膚にあてたままにしてください。

親指を離すと紫色のスタートボタンは出てきますか？

注射中に親指で押していた場合は、親指を離しても紫色のスタートボタンが出てこないことがありますが、問題ありません。

オートインジェクターを15秒間皮膚に押しあてても2回目の「カチッ」という音が聞こえなかった場合はどうしたらよいですか？

「カチッ」という音が聞こえなかった場合でも、薬液確認窓が黄色に変わっていれば、注射が終了したことを確認できます。

オートインジェクターや注射について質問がある場合にはどこに問い合わせればよいですか？

お問い合わせ先
アムジェン株式会社 メディカルインフォメーションセンター
0120-790-549

記号一覧



この製品には天然ゴムが
含まれています



再使用不可



注意
添付文書を
参照してください



ロット番号